

平成 28 年 5 月 19 日

資源エネルギー庁

## 平成 28 年度地熱開発理解促進関連事業支援補助金の採択をします ～全 26 事業を採択～

経済産業省は、本日、地熱開発理解促進関連事業（一次公募）について、別添のとおり 26 件の事業の採択を決定しましたので、お知らせします。  
また、併せて本日より二次公募を開始いたします。

### 1. 補助事業の概要

本事業は地熱資源開発の推進を図るため、地方公共団体や温泉事業者等が地熱の有効利用等を通じて地域住民への開発に対する理解を促進することを目的として行う事業を支援するものです。

### 2. 採択決定

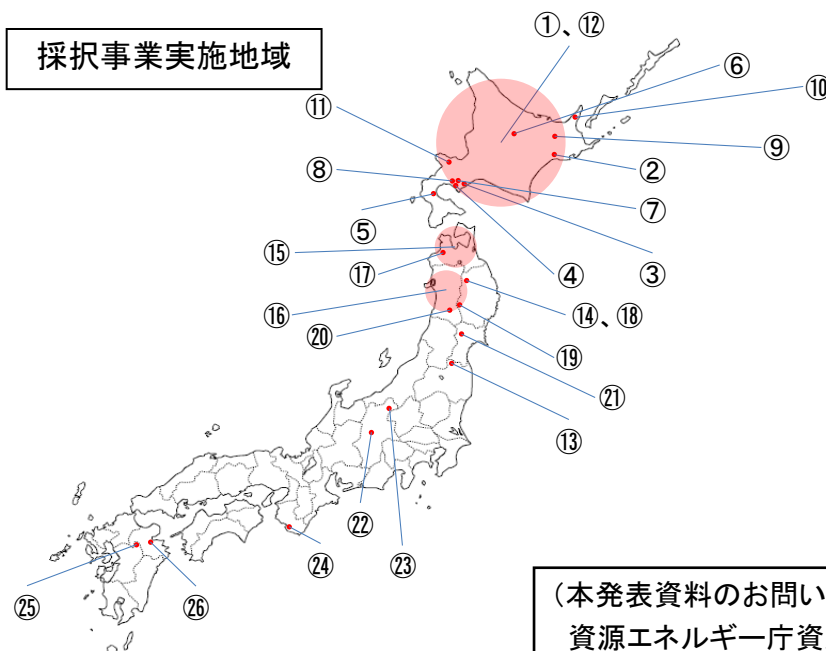
補助事業の採択は、各経済産業局において外部有識者等による審査委員会での結果を踏まえ決定いたしました。採択事業については別紙のとおりです。

### 3. 二次公募

本日 5 月 19 日（木）から 6 月 20 日（月）12:00 まで二次公募を行います。  
詳細は下記 HP をご参照ください。

資源エネルギー庁 HP

[http://www.enecho.meti.go.jp/appli/public\\_offer/1605/160519a/](http://www.enecho.meti.go.jp/appli/public_offer/1605/160519a/)



（本発表資料のお問い合わせ先）

資源エネルギー庁資源・燃料部政策課  
燃料政策企画室長 森田

担当者：白井、山田、花澤

電話：03-3501-1511(内線 4631～4636)

03-3501-2773(直通)

03-3501-8449(FAX)

No.	実施地域	事業者名	申請概要
<b>北海道経済産業局</b>			
1	北海道	北海道	地熱資源導入の取組推進を図るため、市町村や温泉事業者等に対し、助言を行う専門家派遣を実施する。また、道内各市町村のホテルや公共施設等を対象に調査を行い、地熱資源を有する施設の課題を把握する。
2	北海道釧路市	NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構 (一財)前田一步園財団 釧路市 北電総合設計(株)	阿寒湖温泉地域における資源量把握、熱水集中管理や熱利用の検討を行う。また、地熱開発や熱利用に関する理解を促進するための勉強会やシンポジウム、先進地視察を実施する。
3	北海道登別市	登別市 (株)道銀地域総合研究所	地熱利用や排湯熱利用の具体的な検討及び課題の抽出のため、勉強会や先進地視察を実施するとともに、地元大学との街づくりプロジェクトを開始し、「街おこし」を含めた熱水の活用方法を検討する。
4	北海道伊達市	伊達市 北電総合設計(株)	円山地区におけるバイナリー発電設備の導入判断を行うため、勉強会や先進地視察を実施する。また、発電後の熱水利用についての検討を行う。
5	北海道八雲町	八雲町 (一社)北海道再生可能エネルギー振興機構	鉛川地区における地熱発電や熱利用に関する構想を実現するための研修会や先進地視察を行い、関係者間の知識の共有を図る。また、住民向けに地熱開発に関する広報の作成等を実施し、発電事業や熱水利用に関する理解促進を図る。
6	北海道上川町	上川町	坑井掘削調査へ向けて、新たに上川町地熱資源活用協議会を設立し、実施計画の検討を行う。また、町民ワークショップや先進地視察を実施し、熱水の二次利用を検討する。
7	北海道壮瞥町	壮瞥町 北電総合設計(株)	釧路地区において、既存の泉源を活用し、発電や熱利用を行うため、勉強会や湯量調査、先進地視察を行う。
8	北海道洞爺湖町	洞爺湖町 北電総合設計(株)	西山地区における地熱開発や熱利用を行うため、洞爺湖町地熱利用検討協議会を設置し、勉強会や地熱資源に関する調査、先進地視察を行い、発電や熱水の施設園芸利用を検討する。
9	北海道弟子屈町	弟子屈町	地熱理解促進のため、弟子屈のポテンシャルに関する講演会や、熱水利用に関する勉強会を実施する。また、先進地視察を実施し、条例整備等の検討を行う。
10	北海道羅臼町	羅臼町 (株)北海道二十一世紀総合研究所	2,000kWのフラッシュ発電の調査が進む中、町有の源泉を活用したバイナリー発電や熱利用の検討を進めるため、発電機の導入可能性調査や熱水利用の勉強会、先進地視察を実施する。
11	北海道赤井川村	赤井川村	阿女鱒岳における試掘調査が進む中、住民等を対象に地熱開発に関する研修会や先進地視察を実施する。
12	北海道	北海道温泉協会 (株)北海道二十一世紀総合研究所	温泉発電の可能性がある地域の事業者を対象に、バイナリー発電設備導入を進めるための勉強会、先進地調査、ケーススタディを行い、具体的な導入検討を行う。
<b>東北経済産業局</b>			
13	福島県福島市	(株)元気アップつちゆ	地熱発電(バイナリー発電)の熱水を活用したエビ養殖施設、融雪設備を整備することにより地域住民等への地熱開発に対する理解を促進するとともに、東日本大震災からの復興まちづくりの一連の取り組みとして地方創生のモデル地域を目指す。
14	岩手県八幡平市	企業組合八幡平地熱活用プロジェクト	八幡平市の地熱を活用して農業のブランド化・市場確立・生産量拡大を図るとともに、地域振興に資することで若者の雇用、定住・移住者の増加につながる事業(ワーキンググループ、シンポジウム等)を実施することにより、地域住民等への地熱開発に対する理解を促進する。
15	青森県	青森県	青森県内におけるバイナリー発電とその熱水活用に着目した地域地熱エネルギーマネジメントによる将来像を検討するための事業(地熱活用可能性調査、地熱フォーラム、地熱先進地視察)を実施するとともに検討結果を広く県民に周知することにより、地域住民等への地熱開発に対する理解を促進する。
16	秋田県	秋田県	秋田県内における地熱の活用方法、地域振興への効果などを広く検討するための協議会を形成し、検討会、先進事例調査を実施するとともに調査検討結果をセミナーで周知することにより、県民への地熱開発に対する理解を促進する。
17	青森県弘前市	弘前市	弘前市岩木山麓地区で地熱・熱水を利用した賑わいある地域創造を目指す「地熱を活用した街づくりビジョン」を策定・共有するための勉強会・先進地見学・懇談会・発表会を実施することにより、地熱資源開発及び地熱活用に対する理解を促進する。
18	岩手県八幡平市	八幡平市	八幡平市で半世紀にわたって発電している地熱発電所等を活用した事業(視察・勉強会)、住民の意見を踏まえた地熱エネルギー活用策や遊休化している熱水ハウスの再構築を図るための有識者検討会を実施することにより、地域住民等への地熱開発に対する理解を促進する。
19	岩手県西和賀町	西和賀町	西和賀町湯本地区の住民を中心に設置したプロジェクトチーム内タスクフォース(TF)のうち、温泉熱水の有効活用策(バイナリー発電、ハウス栽培、温泉熱調理)実現化に向けた調査・検討事業を実施することにより、地域住民等への地熱開発に対する理解を促進する。
20	秋田県湯沢市	湯沢市	湯沢市において地域住民等に地熱開発について説明助言を行うアドバイザー制度、地熱講演会、地熱発電所見学会を実施することにより、地域住民等への地熱開発に対する理解を促進しつつ地熱開発を推進するとともに、優良事例として全国に波及するような取組を構築する。
21	宮城県大崎市	大崎市	地熱利用メリットの理解や環境に対する懸念払拭のための事業(地熱講演会、地熱開発促進協議会、先進事例視察、熱水活用検討など)を実施することで地域における地熱発電や熱水利用のあり方、イメージの具体化につなげ、地域住民等への地熱開発に対する理解を促進する。
<b>中部経済産業局</b>			
22	長野県諏訪市	(株)小松製作所	「諏訪市地熱開発理解促進コンソーシアム」を組成し、バイナリー発電及び温室ハウス栽培等の熱利用事業を対象とした学習会及び先進地見学会を実施することにより、地域における地熱資源開発に対する理解を促進する。
23	長野県下高井郡山ノ内町	(株)WAKUWAKUやまのうち	「湯田中・渋温泉郷地熱開発理解促進事業協議会」を組成し、協議会の活動及び先進地見学会を実施することにより、地域における地熱資源開発に対する理解を促進する。
<b>近畿経済産業局</b>			
24	和歌山県白浜町	八千代エンジニアリング(株)	和歌山県白浜町における資源量の把握や有効利用についての調査や、地域関係者を対象とした勉強会を開催することにより、地熱開発に対する理解を促進する。
<b>九州経済産業局</b>			
25	熊本県阿蘇郡小国町西里地区	スズカ電工(株)	小国町西里地域及び北里地域における地熱発電所と地域との共生や地表調査に関する基礎知識等の勉強会、及び地熱発電所見学会を通じて、地域住民等の地熱開発に対する理解を促進する。
26	大分県由布市湯布院町湯平地区	(合)湯平エネルギー開発	湯平地区に関する文献データを活用した勉強会や、地熱発電所の見学とともに講習会等を通じて、地域住民等の地熱開発に対する理解を促進する。